



PARAMOUNT BED

# 製品機能仕様書

1. 品名 : 手元スイッチ

2. 製品規格番号 : RC-1840

## 3. 概要

- (1) ベッド本体に接続することで、背・膝・高さの単独動作を操作できる。またメモリーボタンを押し続けることで、背・膝・高さが順次自動的に動作し、あらかじめ設定したベッド姿勢に動作できる。
- (2) 操作禁止や動作速度の切り替えなど、ベッドの設定を変更できる。
- (3) フックを用いることで、ボードおよびベッド柵に設置できる。

## 4. 各部の構成

### 4.1 操作ボタン

- (1) 操作ボタン上の矢印(↑・↓)や文字により上げ下げの表示をし、指で触って識別できるよう上げボタンに突起を設ける。
- (2) 使用者が動作部位を判別しやすくするために、ボタン周りの色を動作部位ごとに色分けする。
- (3) 意図しない操作による挟まれ防止などの安全確保のため、手元スイッチのボタンを2つ以上同時に押した場合、誤操作とみなし動作を停止する。

### 4.2 表示パネル

- (1) 表示パネルを設け、背・膝の角度、高さを表示する。省エネのため、表示パネルは各操作から20秒後に表示内容を自動的に消去する。
- (2) 異常時には、表示パネルに異常箇所を判断するためのエラーコードを表示する。
- (3) 医師・看護師やベッドメンテナンス従事者が手元スイッチの交換時期の目安を確認できるように、表示パネルにレンチマークを表示する(設定中のみ)。

### 4.3 電源ランプ・絵表示ランプ

- (1) 電源ランプの色・状態でベッドの状態を確認できる。緑点灯:正常、赤点滅:エラー状態、橙点灯:離床 CATCH が通知オンの状態(ベッドに離床 CATCH が内蔵されている場合のみ)、となる。
- (2) 電源ランプおよび絵表示ランプにより、暗闇でも手元スイッチの位置・ボタンを確認しやすくする。
- (3) ベッドが最低床高になると、高さの絵表示ランプが白色から橙色点灯に切り替わる。点灯色により、夜間などの暗所やベッドから多少離れた位置からでも、手元スイッチを操作せずに、最低床高になっていることが確認できる。
- (4) 高さ下げ操作時にはメインフレームとベースフレームまたは床との間で、手や足、周囲の物品などの意図しない挟まれを防ぐため、動作途中に一旦停止する場合があります。その際、ピッピッと警告音を鳴らす。その後、再度高さの下げ操作を行うと、警告音を繰り返し鳴らし、高さの絵表示ランプが白点滅しながら、最低位置まで下降する。この際、ベッド動作速度が速いモードになっ

---

ていても低速モードになる。

#### 4.4 設定ボタン

- (1) 設定ボタンと各設定に対応した操作ボタンを操作することで、各設定の変更ができる
- (2) 誤操作の防止や症状に応じて操作禁止をするため、手元スイッチで操作禁止・有効の設定ができる。なお、絵表示されたランプの点灯・消灯でその状態を確認できる。
- (3) 手元スイッチで操作音（動作の開始を確認するため、操作ボタンを押した瞬間にピッと音が鳴動する）のオン・オフの設定ができる。なお、設定中のランプの明暗により設定状態を確認できる。
- (4) 背・膝の角度、高さ調節は、業務の効率化のため、「普通・速い」の2段階の速度切り替えができる。なお、設定中のランプの明暗により設定状態を確認できる。
- (5) 夜間にまぶしくならないように、一定時間操作なしの状態が続いたら絵表示ランプを消灯する。また、加速度センサを搭載することで、手元スイッチを持ったときに絵表示ランプが点灯する。
- (6) 設定情報をすべて初期化することができる。
- (7) 電源をオフにしても各設定情報を保持する。

#### 4.5 ベッド取付部

- (1) プラグは、向きによらずベッド本体に接続できる。
- (2) 手元スイッチのコードが床面に垂れ下がり、つまずきや不衛生の原因とならないように、コードにはカール構造を採用している。
- (3) フックを備え、ヘッドボード等への取り付けできる。
- (4) 手元スイッチの本体、フック、カールコードは、個別に交換できる。